開講専攻	授　業　科　目	担 当 教 員	必修選択の別	単位数
看護学 6セメスター　月・2 7セメスター	助産技術学	小山田　信子	選択	3
授業題目	妊娠期にある女性とその家族に対する援助技術を学ぶ			

授業科目の目的・概要及び到達目標等

助産師は妊娠分娩産褥期にある女性および新生児の健康水準を診断し，正常な経過をたどるよう継続的なケアを行う役割と責任を独自に担う。助産技術学においては，妊娠分娩産褥が自然で安全に経過し，育児がスムーズに行えるよう，対象およびその家族に適切な援助が行えるようその援助技術を学ぶことが目標となる。

本セメスターでは妊娠期の援助技術を中心に学習する。

妊娠期にある女性の身体的，心理的，社会的状態等のアセスメントについて学習する。そして，正常な経過とその逸脱を判断し，対象により良い健康レベルへの援助を提供するために必要な技術について学習する。

授業計画

第１回　妊娠期にある女性の健康診査①
第２回　〃　②
第３回　〃　③
第４回　〃　④
第５回　妊娠期にある女性の心理，社会的側面のアセスメント①
第６回　〃　②
第７回　〃　③
第８回　〃　④
第９回　妊娠期にある女性の健康を支える援助　①
第１０回　〃　②
第１１回　〃　③
第１２回　妊娠期にある女性の主体性を支える援助①
第１３回　〃　②
第１４回　〃　③
第１５回　試験

成績評価の方法及び基準

講義・演習の出席状況，演習レポート，課題レポート，試験から総合的に評価

教科書・参考書

教科書：基礎助産学「助産学診断・技術学Ⅰ」医学書院
　　基礎助産学「助産学診断・技術学Ⅱ」医学書院
参考書：必要に応じて提示